TV-DARTS

★★★★★

PLUG-IN TV DARTS BOARD

取扱説明書

＜URL＞ http://tv-darts.epoch.jp

遊ぶ前に必ず下記文と取扱説明書をよく読んでから使用してください。

⚠注 意

必ずお読みください。

- ●小さな部品があります。口の中に絶対に入れないで下さい。窒息などの危険があります。
- ●AVケーブルやACアダプタのコードを首にかけてふざけたり、乱暴に遊ばないで下さい。窒息などの危険があります。
- ●誤飲・コードによる事故の危険がありますので、小さなお子様には絶対に与えないで下さい。
- ●ダーツは、人や動物などに向けて絶対に投げないで下さい。失明やケガなどの危険があります。
- ●ダーツの先端は、機能上尖っていますので危険です。使用目的以外は絶対に使わないで下さい。

《ACアダプタの誤使用は、火災や感電など重大な事故の原因となります。下記に注意して下さい。》

- ●感電注意。濡れた手でACアダプタを触らないで下さい。
- ●使用後は必ずACアダプタをコンセントから抜いて下さい。
- ●ACアダプタを抜くときは、電源コードを引っ張らないで、必ずコネクター部分を持って抜いて下さい。
- ●たこ足配線は絶対にしないで下さい。
- ●電源コードを無理に曲げたり、ねじったり、強く引っ張ったり、加工したりしないで下さい。
- ●電源コードの上に家具・電化製品・置物など重いものを絶対に乗せないで下さい。
- ●電源コードが痛んだら（接触不良や断線など）、すぐに使用を中止し、新しいACアダプタに交換して下さい。
- ●家庭用電源100Vに接続して下さい。
- ●ACアダプタは専用品ですので付属のACアダプタ以外は使用しないで下さい。又、同梱のACアダプタをほかの商品に使用しないで下さい。
- ●野球投げなどの過度の力でダーツを投げないで下さい。手や肩などを痛める恐れがあります。
- ●ダーツボードを設置する時は、ダーツボードを十分に支え得る強度が有る壁を選んで下さい。強度の弱い壁に設置すると、落下などの危険があります。また安全のため取り付け金具にゆるみなどが無いかどうか定期的に確認して下さい。
- ●ダーツを投げる時は、ダーツボードの付近に、人や動物がいない事を十分に確認して下さい。
- ●お子様が遊ぶ場合は、必ず保護者の監視のもとで遊んで下さい。
- ●遊んだ後は、床などに放置せず、小さなお子さまの手の届かない所に保管して下さい。また、遊んだ後は、折れたチップやダーツの紛失などがないかどうか必ず確認して下さい。

まきつけない　くちにいれない　みずにぬらさない　ひとにむけない

使用上の注意

- ・本製品は、ソフトチップダーツ専用です。スティールチップダーツは絶対に使用しないで下さい。破損、故障などの原因になります。
- ・壁などにダーツが当たるとキズがつく場合がありますので注意して下さい。
- ・破損・故障・変形などの原因になりますので、AVケーブルや電源コードを引っ張ったり、ダーツボードを落とすなど強い衝撃を与えたり無理な力を加えたりしないで下さい。
- ・破損・故障・変形などの原因になりますので、野球投げなどの過度の力でダーツを投げないで下さい。
- ・取扱説明書に明記されている部分以外の分解・改造は行わないで下さい。
- ・電源を切る時は、取扱説明書をよく読んでから行って下さい。電源の切り方によっては記録したデータが消えてしまう恐れがあります。
- ・断線の原因になりますので、コードを抜く時は必ずプラグ部分を持って抜いて下さい。
- ・高温・多湿の場所や直射日光の当たる場所での使用、保管は行わないで下さい。
- ・屋外では遊ばないで下さい。
- ・防水性はありません。水に濡らさないで下さい。
- ・透明袋は梱包材ですので、開封後はすぐに捨てて下さい。
- ・接続するテレビによっては、ゲーム中の音の大きさとテレビ番組などの音の大きさに差がある場合があります。そのような場合は、テレビ番組を切り替える時に音量を調整して下さい。
- ・プロジェクションテレビ（スクリーン投影方式のテレビ）に接続しないで下さい。残像現象（画面焼け）が生じることがあります。
- ・本製品は日本国内専用です。外国ではテレビの構造、放送方式などが異なりますので使用できません。

※パッケージや取扱説明書の画面写真および商品は、開発中のものです。実際の画面や商品と多少異なる場合があります。

対象年齢16才以上

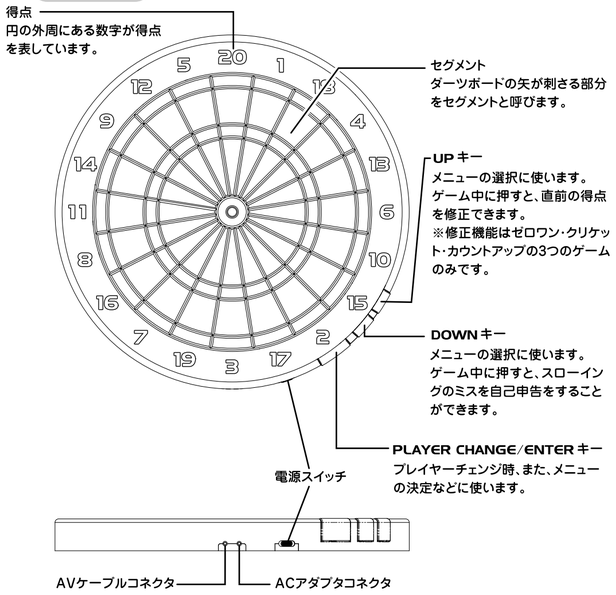
EPOCH 株式会社 エポック社

セット内容

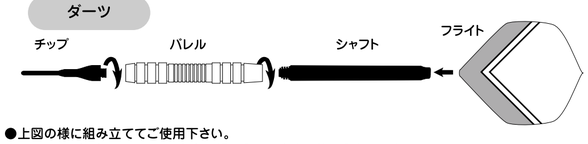
・本体（ダーツボード）　・AVケーブル（約5m）　・ACアダプタ（約5m）　・ダーツ（6本）
・交換用チップ（30個）　・取り付け金具（木ねじ×3本）　・ステッカー
・交換用セグメント（2個）　・保証書　・ルールブック
・取扱説明書（本書）

各部の名称

ダーツボード



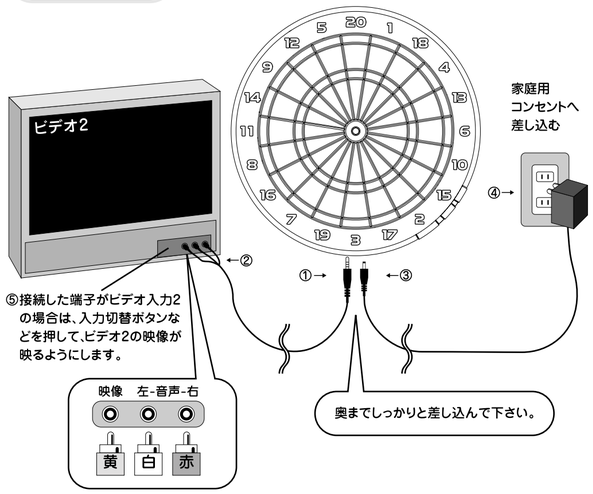
ダーツ



- ●上図の様に組み立ててご使用下さい。
- ●フライトは広げて、シャフトの十字の切り込みに奥まで差し込んで下さい。

接続方法

付属のAVケーブル・ACアダプタを使って下図のように接続して下さい。



①AVケーブルのプラグが1つの方を、本体下側のAVケーブルコネクタに差し込んで下さい。AVケーブルは本体にしっかりと差し込んで下さい。

②AVケーブルのプラグが3つの方を、テレビの外部入力端子に接続します。3本のプラグは必ずテレビ側の同じ色の端子に接続して下さい。

（テレビに外部入力端子がない場合、テレビに接続されたビデオデッキなどを通して接続することができます。詳しくはビデオデッキなどの取扱説明書をよくお読み下さい。）

③ACアダプタを本体下側のACアダプタコネクタに差し込んで下さい。

④ACアダプタを家庭にあるコンセントに差し込んで下さい。

⑤テレビの「入力切替ボタン」などを押して、外部入力した映像が映るように調整して下さい。テレビの外部入力端子、入力切替についてはテレビの取扱説明書をよくお読み下さい。

⚠注 意

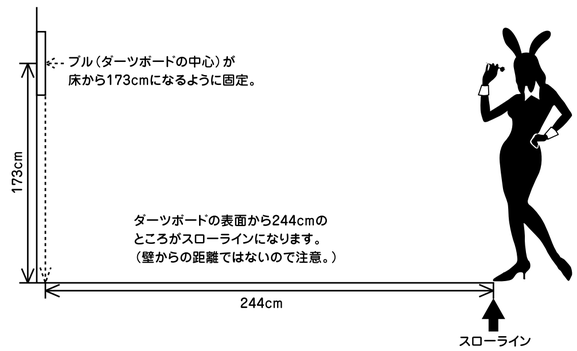
※断線の原因となりますので、各種ケーブルを抜く時は必ずプラグ部分を持って抜いて下さい。

※AVケーブルのプラグは、しっかりと奥まで差し込んで下さい。プラグが奥まで差し込まれていないと、テレビ画面に何も映らなかったり、画面が乱れたりする場合があります。

設置方法と設置例

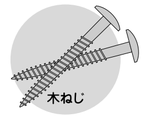
距離

注意！ ダーツボードを設置する時は、ダーツボードを十分に支え得る強度が有るところを選んで設置して下さい。

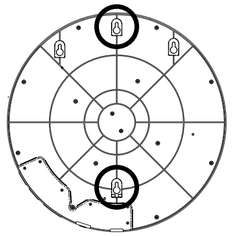


設置方法

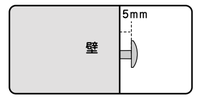
注意！ 必ず柱にねじを打ち込んで下さい。壁にねじを打つときは、裏に柱があるかどうか、必ず確認して下さい。



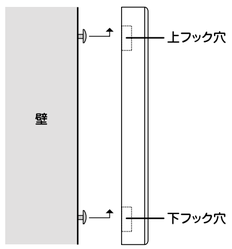
① 図のフック穴にねじ頭を引っ掛けて固定をします。中心が173cmの位置にくるように位置決めをし、木ねじを必要な位置に設置して下さい。
その際、木ねじは最後まで壁に埋め込まず、首の部分を5mm程度壁から出しておくようにして下さい。



＜取り付け例＞
上下2箇所のフック穴を利用して、壁に取り付けてください。



木ねじは最後まで壁に埋め込まず、首の部分を5mm程度壁から出しておくようにして下さい。

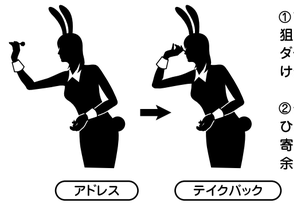


②上下のフック穴にしっかりと木ねじを引っ掛けて下さい。
設置後、左右に軽く動かして外れない事を確認して下さい。

注意！ ダーツボードの下側にあるフック穴には必ず木ねじが引っかかるように設置して下さい。下側を固定しない場合、ダーツの矢を引き抜く際、ダーツボードに負担がかかり危険です。

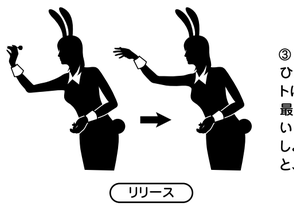
注意！ ダーツの矢がボードからそれたり、矢が跳ね返ることが予想されますので、テレビを置く位置はスローラインの後ろ側にして下さい。

ダーツの投げ方の基本

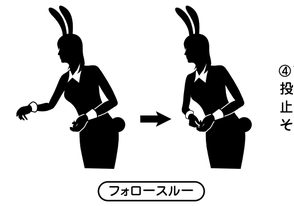


①アドレス
狙うポイントを見て、図のように構えて下さい。
ダーツを持つ時は、ダーツの重心を持つように心がけましょう。

②テイクバック
ひじの位置を動かさず、耳の辺りまでダーツを引き寄せます。この時、手のひらが上を向くようにすると、余分な力が手首にかかりません。



③リリース
ひじの位置を変えずに、引き寄せたダーツをポイントに向かって投げます。ひじを中心に動かした腕が最も高い位置にきた時にダーツをリリースして下さい。ダーツを支えている指は、すべて同時に離しましょう。紙飛行機を投げるようなイメージで投げると、上手く投げることができます。

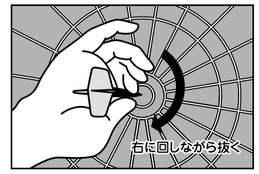


④フォロースルー
投げ終わった腕は無理に止めず、自然にゆっくりと止め、ダーツがボードに刺さったのを見たら、視線をそらさずに、次のスローイングの準備に移ります。

⚠注 意

・野球投げは絶対にしないで下さい。
・ダーツは、人や動物などに向けて絶対に投げないで下さい。失明やケガなどの危険があります。
ダーツを投げる時は、周りの人や物にあたらないように注意して下さい。

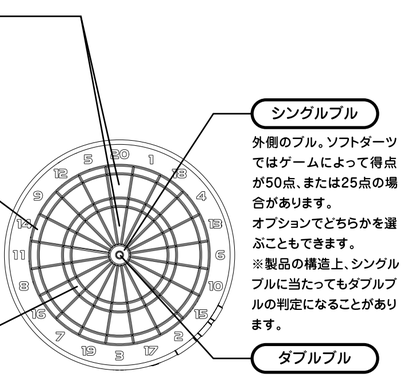
ダーツの抜き方



的に刺さったダーツを抜くときは、時計回りにまわしながら抜いて下さい。こうすることでチップが緩みにくく、ボードへの負担も軽減することができます。
万が一、チップが折れてダーツボードに先端部分だけ残ってしまった場合は、ラジオペンチなどで抜くか、奥まで入ってしまった場合は裏面「メンテナンスの方法」をご覧の上、チップを除去して下さい。

ダーツゲームの基礎知識

ダーツボードの見方



ゲームの基本進行

- ●ダーツのゲームはさまざまなものがありますが、どのゲームも「1スロー、3ダーツ」が基本です。
自分の順番が回ってきたら、3本矢を投げて本体右下PLAYER CHANGEキーを押して下さい。
- ●実際のルールではダーツが的から外れた場合も、1投と数えます。コンピュータでは外れたダーツを判定することができませんので、はずれた場合はDOWNキーを押してOUTを自己申告して下さい。